

マラウイ月報（2023年12月）

【外交】

1. 「マラウイ、ガザ停戦投票を棄権し非難を浴びる」（14日付ネイション紙）

マラウイ政府は、ガザ地区での人道停戦を求める国連での投票を棄権したことで、複数の国内の市民権団体から非難を浴びている。マラウイは南部アフリカで唯一の棄権国である。

【経済】

1. 「マラウイ政府、電気料金値上げを一時停止」（3日付タイムズ紙）

マラウイ中央銀行（RBM）のクワチャ切り下げ発表を受け、マラウイ政府は当初予定していた40.9%の電気料金引き上げ開始を2024年4月に延期した。

2. 「ドイツ、マラウイに1,400億クワチャの支援を約束」（3日付タイムズ紙）

11月30日、12月1日にドイツ・マラウイ政府間交渉がオンラインで開催され、ドイツ政府が1,400億クワチャの支援を提供することに合意した。

3. 「スコットランド、サイクロン被害からの復興を支援」（4日付タイムズ紙）

スコットランド政府は、サイクロン・フレディにより被災した3,000世帯に対し250万米ドルの支援を約束した。

4. 「イスラエルへの労働輸出、手続に違反」（5日付タイムズ紙）

4日、マラウイ政府は、198人のマラウイ人がイスラエルへの労働輸出に関し、関係機関がガイドラインに従っていなかったことを認めた。

5. 「マラウイ政府とEU、技術向上イニシアチブを開始」（6日付タイムズ紙）

マラウイ政府は、若者の雇用及び起業機会創出を目的に、EUと共同で「Zantchito Skills for Jobs プログラム」を開始した。

6. 「マラウイ、ダルエスサラーム回廊協定に調印」（6日付ネイション紙）

マラウイは、タンザニア・ダルエスサラーム港につながる中央輸送回廊の開発促進を目的とした中央回廊通過輸送円滑化協定に署名した。

7. 「マラウイと世銀、5億1,050万米ドルの無償資金協力に署名」（7日付タイムズ紙）

マラウイ政府と世銀は、マラウイ社会保障マルチ・ドナー信託基金を通じた、「強靱な生活のための社会支援プロジェクト」継続のため、5億1,050万米ドルの無償資金協力に署名した。

8. 「AfDB、送電網プロジェクトに3,300万米ドルを投入」（7日付ネイション紙）

アフリカ開発銀行（AfDB）は、マラウイ、ザンビア、ジンバブエとの国境付近の送電網改善が期待されるソンゴ・マタンボ送電線プロジェクトを実施するため、モザンビークに3,300万米ドルを供与した。

9. 「IFAD、NBSと500万米ドル規模の農業プロジェクトで提携」（8日付ネイション紙）

国際農業開発基金（IFAD）はNBS銀行と提携し、紅茶とマカデミアナッツ農家を対象とした500万米ドルの基金を立ち上げた。

10. 「第3四半期の貿易赤字、5億2,860万米ドルに縮小」（9日付ネイション紙）

RBMの発表によると、貿易収支は5億2,860万米ドルの赤字に縮小した。

11. 「マラウイ、水に関する4億米ドルの取引を獲得」（11日付タイムズ紙）

マラウイ企業のGrow Greenは、フィルター製造により5,000人の直接雇用を創出する。本プロジェクトは、飲料水の入手が困難な1,000万人に裨益する見込みである。

12. 「世銀、直接財政支援を再開」（12日付タイムズ紙、ネイション紙）

世銀は、2017年以来初となるマラウイに対する直接財政支援を決定し、1億3,700万米ドルの「マラウイ第一次成長・強靱性開発政策オペレーション（Cat-DDO）」を承認した。

13. 「エコバンク、1,000万米ドルの貿易金融保証を確保」（19日付タイムズ紙）

エコバンク・マラウイは、食糧安全保障強化のため、プロパルコ（仏開発金融機関）から1,000万米ドルの貿易金融保証を獲得した。

14. 「デッサOSBPを歓迎する貿易業者たち」（20日付ネイション紙）

ムチンジのワンストップ・ボーダーポスト（OSBP）に続き、デッサのOSBPが開業した。

15. 「11月のインフレ率、33.1%に上昇」（21日付ネイション紙）

2023年11月のインフレ率は、33.1%（対前年同月比6.2%増）。

16. 「世銀から2億4,000万米ドルの気候変動対策支援を受ける」（23日付ネイション紙）

マラウイは、世銀から2億4,000万米ドルの無償資金協力を受け、シレ川流域の管理等、水災害からの復興を強化する取組を行う。

記事の内容にご質問のある方は、当館までお問い合わせください。

代表電話：+265 885 302 222

Email：embmalawi@lw.mofa.go.jp